



競技規則・大会規則

〔北海道予選／札幌北広島ゴルフ倶楽部・南コース〕

1. ゴルフ規則

日本ゴルフ協会発行のゴルフ規則及び本競技ローカルルールを適用する。

2. 競技委員会の裁定

競技委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について競技委員会の裁定は最終である。

3. 使用球の規格

本競技では公認球に限って使用を認める。(ワンボール条件は適用しない)

4. 使用クラブの規格

適合ドライバーヘッドリストの条件・規則を適用する。

5. 参加資格

ハンディキャップインデックスを取得したプレーヤーで、ハンディキャップインデックスが25.4までの社会人アマチュアゴルファー(18歳以上)であること。

男性、女性は問わない(性別によって競技使用ティは別、競技規則12の通りとする)

6. 競技方法及び順位の決定方法

18ホールズストロークプレーによるアンダーハンディキャップ競技

フライトごとに5つにクラス分けし、グロススコアからプレーイングハンディキャップを引いたネットスコアによってその順位を決定する。

もし順位にタイスコアが生じた場合には、下記の通り順位を決定する。

- ① プレーイングハンディキャップの少ない方が上位
- ② ハンディキャップインデックスが少ない方が上位
- ③ 18番ホールからのカウントバックによってその順位を決定(開催コースにより詳細を発表する)

7. 競技が短縮された場合の順位決定方法

荒天等の理由により競技が18ホールズ終了しなかった場合、競技委員会は次のような処置を取る。

(1) 全選手(各フライトごと)が9ホールズプレー終了の場合には競技成立とし短縮競技とする。

その場合、プレーイングハンディキャップ50%にてネットスコアを算出し順位を決定する。

(2) 全選手が9ホールズを終了できなかった場合には、競技不成立とする。

8. 予選通過

地区予選の各フライトの上位選手は、2026年8月28日(金)P G M 総成ゴルフクラブにて開催するWAGC アンダーハンディキャップゴルフ決勝競技(WAGC ジャパンファイナル)に進出する。

予選通過枠の発表は各会場にて行う。(予選通過枠は参加人数の比率によって決定します)

9. 参加フライト(クラス)とプレーイングハンディキャップの決定について

WAGC 大会事務局は、予選開催日の2週間前を基準日として、事前に提出された氏名、生年月日、GRID No.によって、大会後援の日本ゴルフ協会にハンディキャップインデックス及び予選に参加される会場の本競技におけるプレーイングハンディキャップを取得します。

JGA から取得したインデックスで各選手の参加フライトが決定します。また、同じく JGA から各会場、各選手に提示されたプレーハンディキャップによって本競技を行います。各選手には組合せ発表時に公開になります。(ハンディキャップインデックスで競技を行う訳ではありません)

10. 乗用カートでの移動(乗用カートがあるコースの場合)

各競技者はラウンド中に乗用カートへ乗車してのプレーを許可する。

11. 距離計測やホールレイアウトの確認

選手は距離計測やホールレイアウトを確認する目的でGPS式、レーザー式、距離計測器やコースナビゲーションなどを使用することができる。尚、プレーに影響する可能性のある他の条件(高低差、風速等)を計測する機能は使用不可とする。

12. 競技使用ティ(性別によって競技使用ティが異なります・シニアティの設定はありません)

南コース使用

| 使用ティ | | 目安となる距離 |
|------|-----------|---------|
| 男性 | White Tee | 6,117y |
| 女性 | Red Tee | 5,129y |

※競技ヤーデージは変更になる場合があります

13. 指定練習日

特定の練習日は設けずに随時開催コースにて練習ラウンドを受付ける。

「WAGC アンダーハンディキャップゴルフに出場」とお伝え頂き直接ご予約をお願い致します。

14. 注意事項

- (1) スタート時間の40分前までに大会専用受付でレジスト(選手受付)を済ませること。
- (2) スタート時間の10分前にスターティングホールに集合しスタート説明を受けること。
- (3) 競技規則に記載のない事項や変更・追加があった場合には、スタート前の競技説明での掲示及び案内する事とする。

15. 肖像に関する同意事項

出場選手は、出場に際し本競技に関わる放映、報道、広報の為に写真・テレビ・その他の各種記録媒体による収録物、編集物にかかるプレーヤーの肖像権を主催者(本競技)に譲渡する事を事前に承諾する。

以上

WAGC アンダーハンディキャップゴルフ
トーナメントディレクター 豊島 豊